



®環境省

エコアクション21

認証番号002473

環境経営レポート 2023年度

第14版 (2023年2月～2024年1月)



発行日 2024年4月1日



有限会社 平井商会

1、環境方針

＜基本理念＞

有限会社平井商会は、地球環境保全の重要性を強く認識し、社員一人一人が責任を持ち、自主的に環境への取組みを行い、環境負荷の削減に継続的に取組むことで、持続可能な循環型社会の構築に貢献していきます。

＜環境経営方針＞

有限会社平井商会は、一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬を地元根ざして行っており、環境マネジメントシステムを積極的・継続的に導入し、地域との共生を図り、地域の環境保全に貢献します。

- 1、環境関連法規、条例及びその他の規制を遵守します。
 - 2、環境への取組みを継続的に見直し、改善を行うことにより環境汚染の予防に努めます。
 - 3、事務所の電気使用量の削減等、省エネルギーに努めます。
 - 4、効率の良い回収ルートの見直し等を行い、燃料の削減に努めます。
 - 5、収集運搬業において、リサイクル率の向上に努めます。
 - 6、総排水量の削減を目指します。
 - 7、環境方針を積極的に取組めるよう全従業員に周知します。
- 以上を環境方針とし、達成するために具体的な環境目標を設定し、定期的に見直し、環境活動を実践します。

2007年9月20日

改訂日 2010年3月8日

改訂日 2012年2月1日

改定日 2021年2月1日

有限会社 平井商会

代表取締役 平井健介



2、EA21環境組織図



3、事業の概要

1、事業社名および代表者名

有限会社 平井商会

代表取締役 平井 健介

2、所在地および連絡先

住所

熊本県熊本市西区河内町船津2048

TEL

096-276-0144

FAX

096-276-0277

E-mail

gomiyasan@hiraishokai.jp

URL

<http://www.hiraishokai.jp>

3、環境管理責任者

取締役

平井 由香

4、会社経歴

①創業年月

1973年11月

②設立年月

2006年3月20日（法人化）

2010年3月8日

平井健介が代表取締役に就任

③資本金

3百万

④事業年度及び環境年度

期首 2月 期末 1月

（同年度とも同じ）

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
処理量	t	13894	57582	10039	9232
売上高	百万円	157	161	155	150
従業員	人	17	15	14	14
車両台数	台	20(内 営業車3台)	22(内 営業車3台)	22(内 営業車3台)	19(内 営業車3台)



5、事業内容

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業

6、許可の内容

＜一般廃棄物収集運搬業＞

熊本市許可

許可番号：第24R-9号（積替・保管行為を除く）

許可の種類（品目）：ごみ（事業ごみと臨時の家庭ごみ）

許可年月日：2024年4月1日 許可期限：2026年3月31日

＜産業廃棄物収集運搬業＞

①熊本県・福岡県・宮崎県・鹿児島県許可

			許可品目																
	許可番号	有効期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	動植物性残さ	がれき類	動ふん尿	動物死体	ばいじん
熊本県	04301134839号	2022, 3, 30		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
		2027, 3, 28		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
福岡県	04000134839号	2022, 7, 19		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		2027, 7, 18		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
宮崎県	04504134839号	2023, 6, 13		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
		2028, 6, 12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
鹿児島県	04601134839号	2019, 5, 31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
		2024, 5, 30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○

* 上記のうち石綿含有産業廃棄物を含む。

水銀使用製品産業廃棄物を含む。

* 積替・保管行為を除く。

* 自動車等破砕物及び特別管理廃棄物であるものを除く。



7、施設・運搬車両の状況（2024年1月31日現在）

①積替・保管施設なし

②収集運搬車両（一般廃棄物） 計10台

3t 塵芥車 7台

3t アーム車 1台

2t深ボディ車パワーゲート付 1台

平ボディ 1台

③収集運搬車両（産業廃棄物） 計6台

10t アーム車 1台 4t アーム車 1台

3t アーム車 1台 2tアーム車 1台

3トンユニック車 1台 軽トラ 1台

④営業車 3台

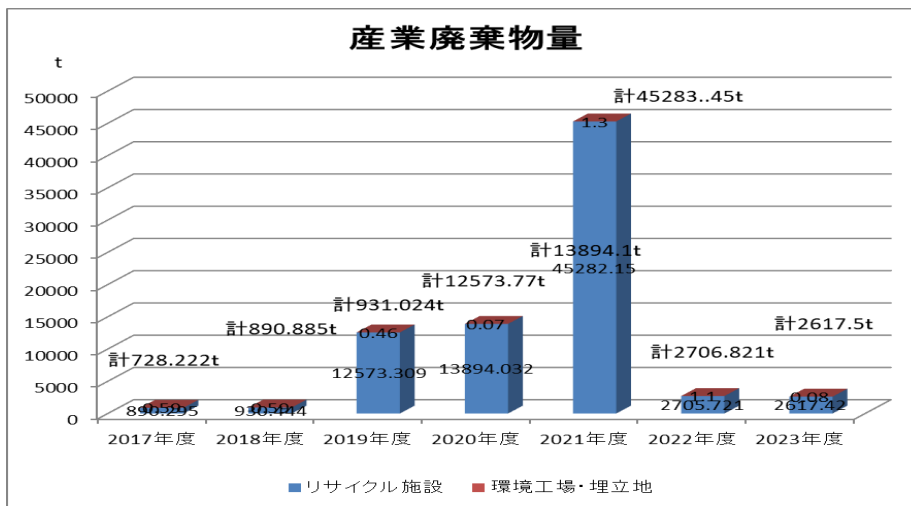


じゅ

新たに、新デザイン
イチゴ、梨、レインボーのトラック
を導入しました！弊社トラックは全
て地元特産物のデザインにしてい
ます！



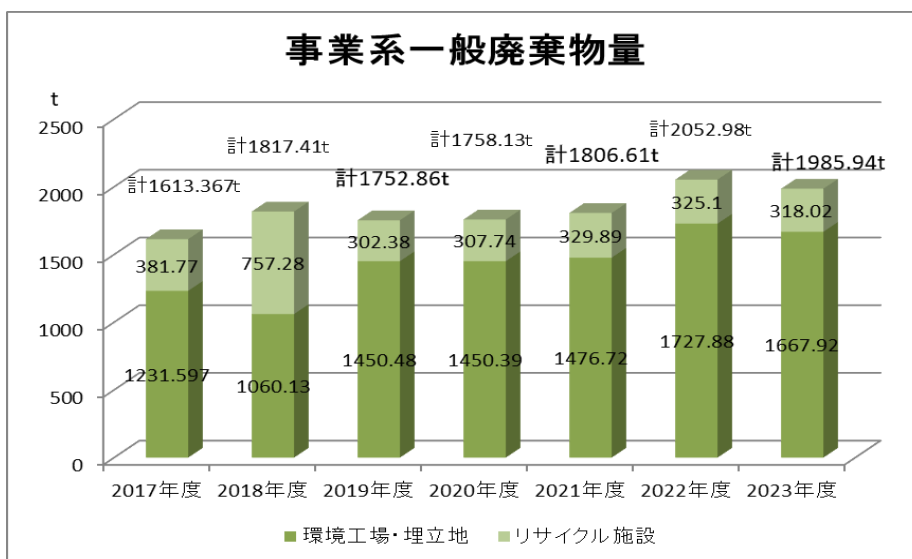
8、受託した産業廃棄物の処理量（7年分の推移）



産業廃棄物の量は、昨年度とほぼ同じ量でした。

今後も産業廃棄物の扱う量を増やしていきたいです。

9、受託した一般廃棄物の処理量（7年分の推移）



堆肥化施設の閉鎖により、リサイクル率は大幅に減少しましたが、近年は安定しているので、このリサイクル率がベースになるかなと思います。事業系の顧客は徐々に増えてきています。

10、廃棄物収集運搬料金

その都度見積もりにて設定させていただきます。



4、環境経営目標

	単位	2022年度 実績	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	219,852	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
電力使用量の削減	kWh	6,287	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
燃料（軽油）使用量の減少	L	80,698	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
燃料（ガソリン）使用量の削減	L	3,869	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減
自社判断可能な産業廃棄物リサイクル率 ※1	%	100%	100%	100%	100%	100%
産業廃棄物量の取扱・強化 ※2	t	2706.821	前年比 1%増加	前年比 1%増加	前年比 1%増加	前年比 1%増加
事業系一般廃棄物リサイクル率 ※3	%	15.83%	前年比 1%増加	前年比 1%増加	前年比 1%増加	前年比 1%増加
排出事業者への啓発（リサイクル推進）		啓発の実施	啓発の実施	啓発の実施	啓発の実施	啓発の実施
総排水量の削減（上水）	m ³	309.5	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動
トラック洗い場の清掃と美化活動		4回／月 （月平均）	4回／月	4回／月	4回／月	4回／月
廃棄物（紙）の削減	枚	10,500	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減

購入電力は、2020年度九州電力の調整後排出係数0.479kg-CO₂/kWhを使用している。

※1・産業廃棄物に関しては、原則として排出事業所が処分先を指定する仕組みになっており、弊社に処分先をご相談されて決められた場合の件数が、278件/280件中なので、278件分をリサイクル率算出の対象としました。

※2・昨年度も、一昨年に比べて、同様に産業廃棄物の全体の顧客件数が4件増えていました。次年度も伸ばしていきたいです。

・製品データ安全シートにより、現在使用しているものは、PRTR法対象物質に該当するものではありませんでした。

※3・再資源化率の数式＝再資源化の量÷事業所の処理量×100
（月別集計付 令和5年度の事業の規模のシート参照）



5、実績

		単位	2022 年度 実績（基準）	2023 年度 目標	2023 年度 実績	達成率
1	二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂	219,852	217,653	216,317	101%
1-1	売上1千円当たり	/千円	1.41	1.39	1.43	97%
1-2	処理量1t当たり	/t	21.9	21.68	23.43	93%
2	電力使用量の削減	kWh	6,287	6,224	5,289	117%
2-1	売上1千円当たり	/千円	0.040	0.039	0.035	111%
2-2	処理量1t当たり	/t	0.63	0.623	0.527	118%
3	燃料（軽油）使用量の削減	L	80,698	79,891	79,381	101%
3-1	売上1千円当たり	/千円	0.518	0.512	0.527	97%
3-2	処理量1t当たり	/t	8.04	7.959	8.59	93%
4	燃料（ガソリン）使用量の削減	L	3,869	3,830	3,869	99%
4-1	売上1千円当たり	/千円	0.025	0.024	0.025	96%
4-2	処理量1t当たり	/t	0.385	0.381	0.419	91%
5	産業廃棄物 リサイクル率	%	100%	100%	100%	100%
6	産業廃棄物量の取組・強化	t	2706.821	2733.889	2617.2	96%
7	事業系一般廃棄物 リサイクル率	%	15.83%	15.98%	16.01%	100%
8	排出事業者への啓発 （リサイクルの推進）		啓発の実施	啓発の実施	啓発の実施	啓発の実施
9	総排水量の削減	m ³	節水活動	節水活動	節水活動	活動できた
10	トラック洗い場の 清掃と美化活動	回	4回／月 （月平均）	4回／月	4回／月 （月平均）	100%
11	廃棄物（紙）の削減	枚	10,500	10,395	10,000	104%
11-2	売上1千円当たり	/千円	0.067	0.066	0.066	100%
11-3	処理量1t当たり	/t	1.04	1.029	1.08	95%

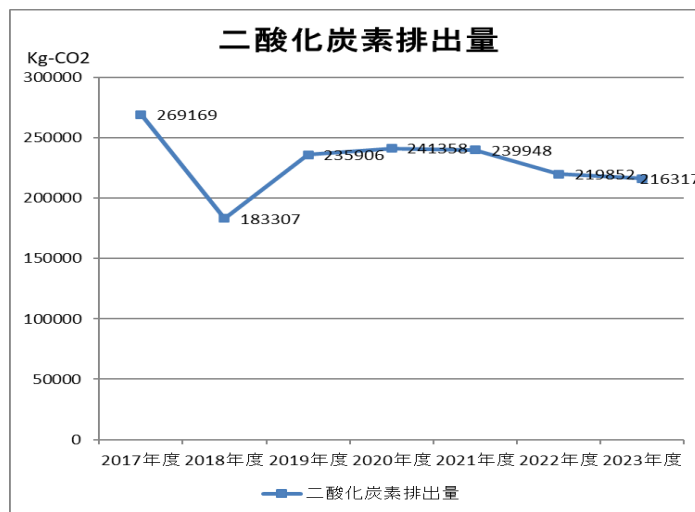
・会社の電力使用量＝全体の電力量×30%
（事務所兼自宅のため）

- ・水使用については、上水と地下水を利用している。但し、事務所兼自宅のため、節水活動を実施する。
- ・上水は、事務所兼自宅のため、全体の使用量の50%とする。

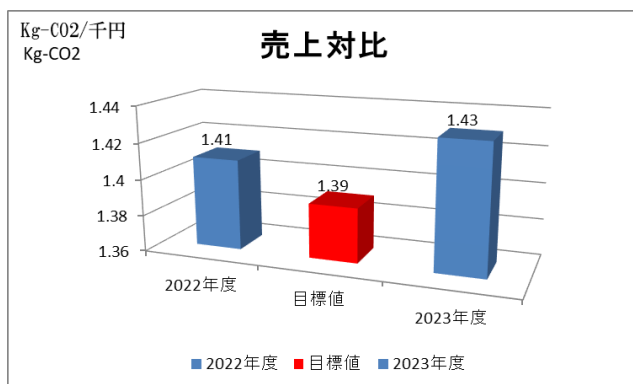


6、実績（グラフ化）と評価

1、二酸化炭素排出量



1-1

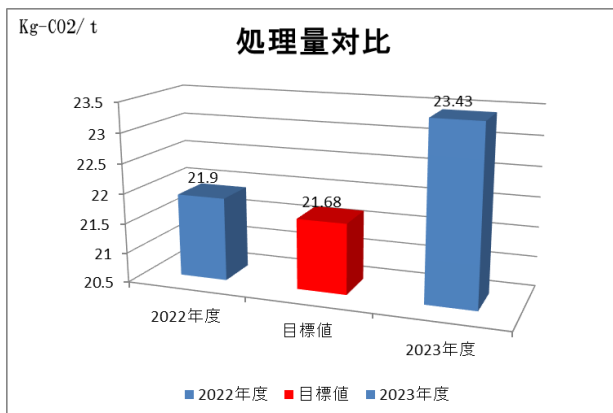


CO₂排出量は、達成出来た。
売上対比と処理対比では達成は出来ていなかったが、削減効果は表れていると思う。

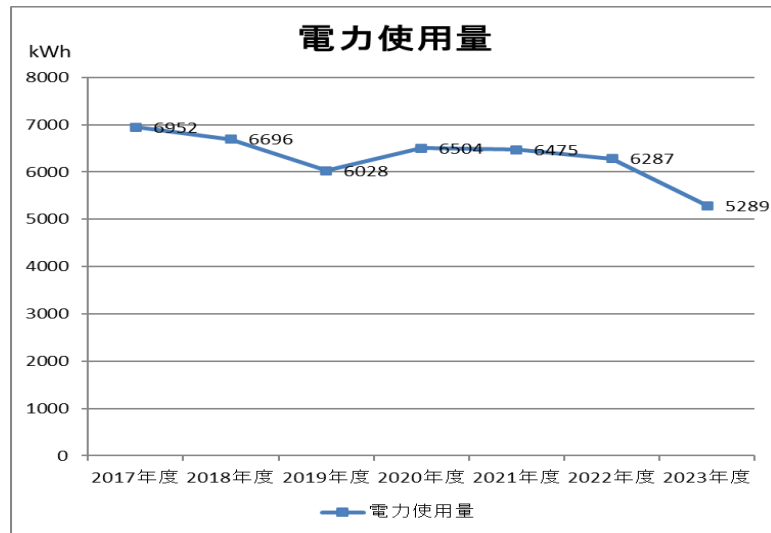
一人一人の全体的な環境活動が上手く行っている結果だと考える。

今後も、積極的に社員一人一人が環境活動を行い、環境経営システムの構築に努めていきたい。

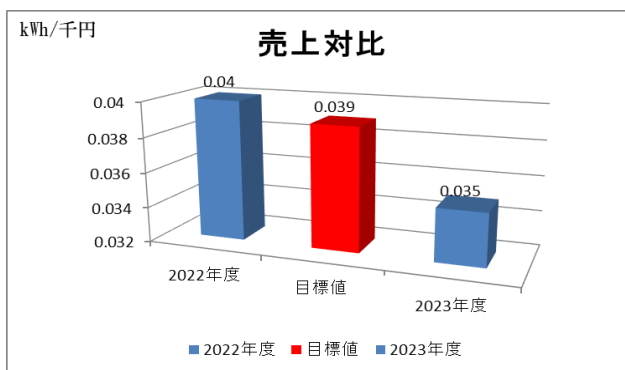
1-2



2、電力使用量



2-1



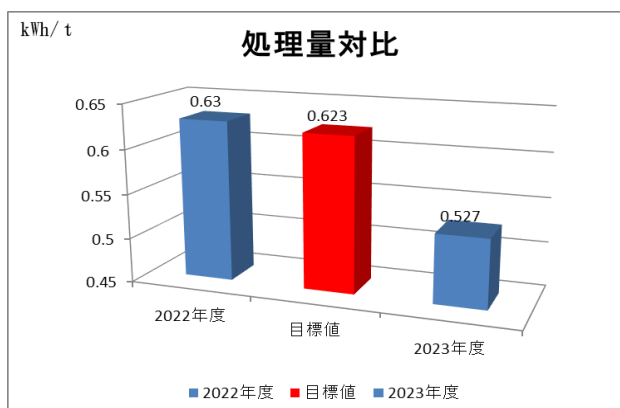
今年度は、削減達成出来た。

自宅兼事務所になっているので、家庭での取組みも影響が大きいとは考えられるが、年々、家庭でも環境活動が身についてきていると思う。

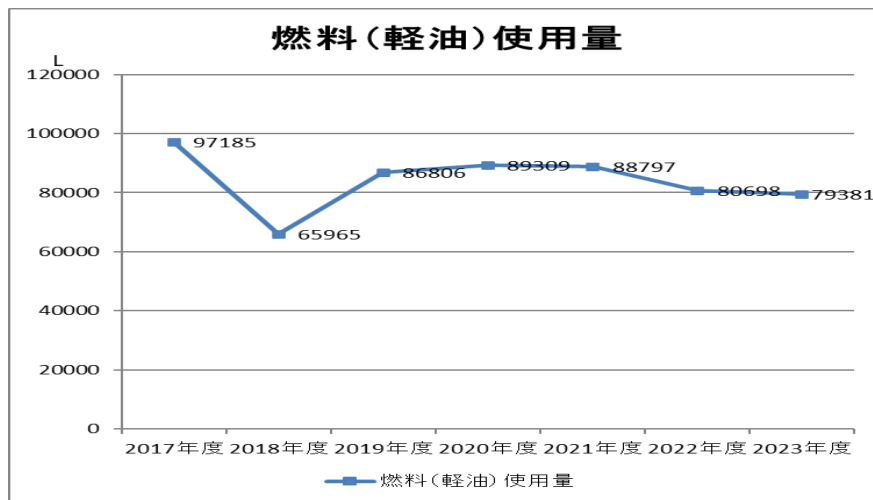
事務所でも、空調管理の徹底等、取り組みはできたと思う。

今後も会社だけでなく、家族全体でも取組んでいきたい。

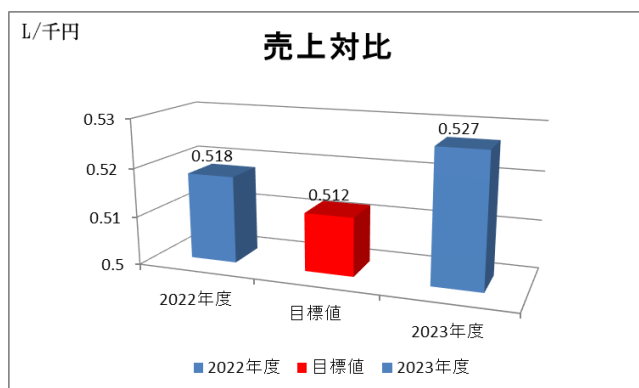
2-2



3、燃料（軽油）使用量

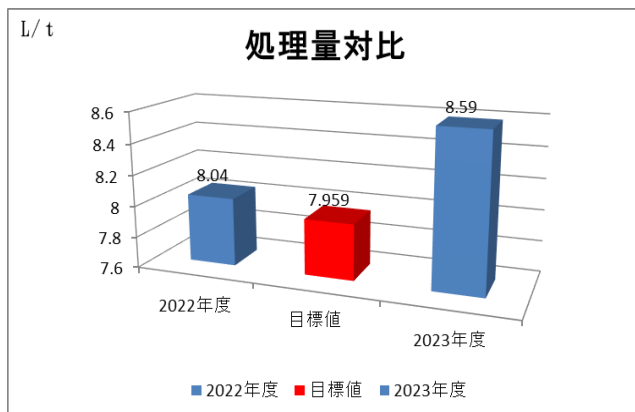


3-1

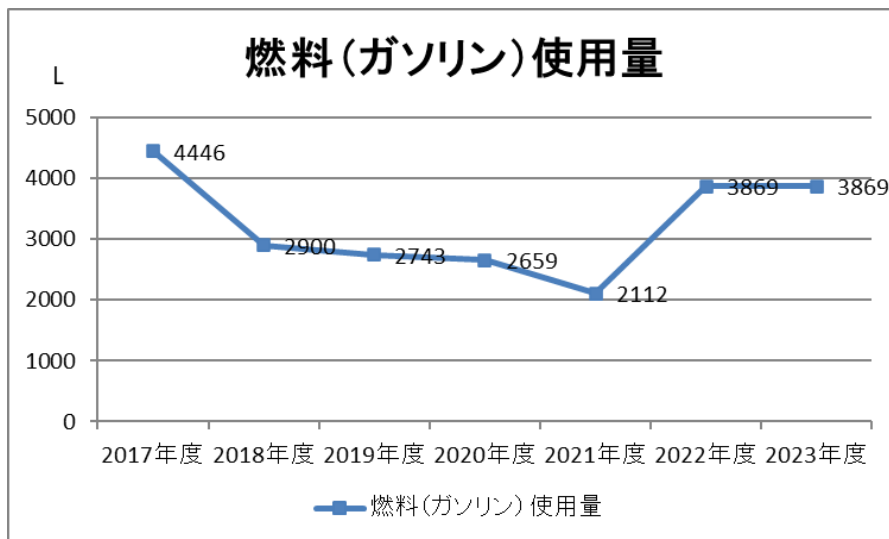


燃料（軽油）使用量は、達成出来た。売上高、処理量対比では達成出来ていなかった、さらに活動の余地はあると思う。一人一人の社員の環境活動は定着しているので、今後も継続させていきたい。

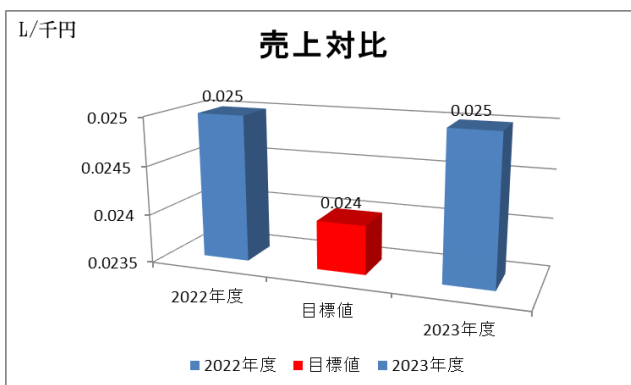
3-2



4、燃料（ガソリン）使用量

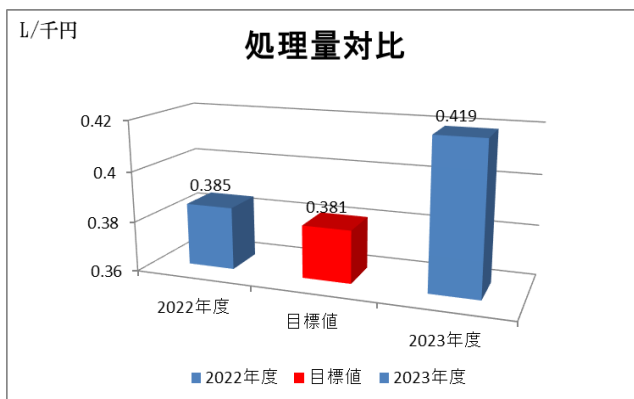


4-1

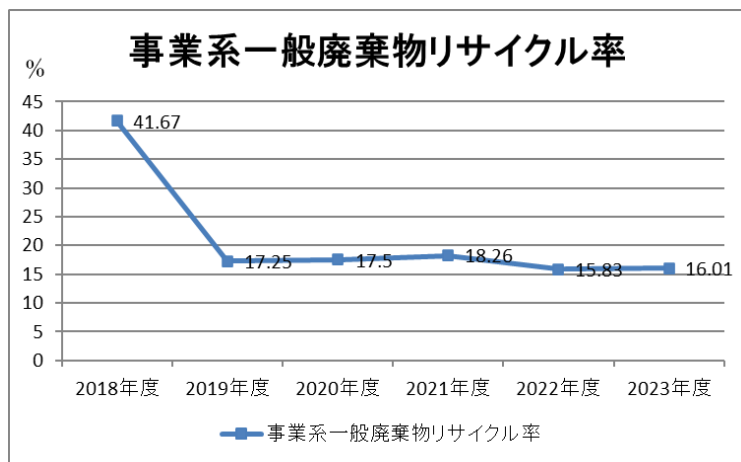


燃料（ガソリン）使用量は、昨年と同じ使用料であった。これをベースに削減出来るよう、活動に取り組んでいきたい。

4-2



5、一般廃棄物リサイクル率

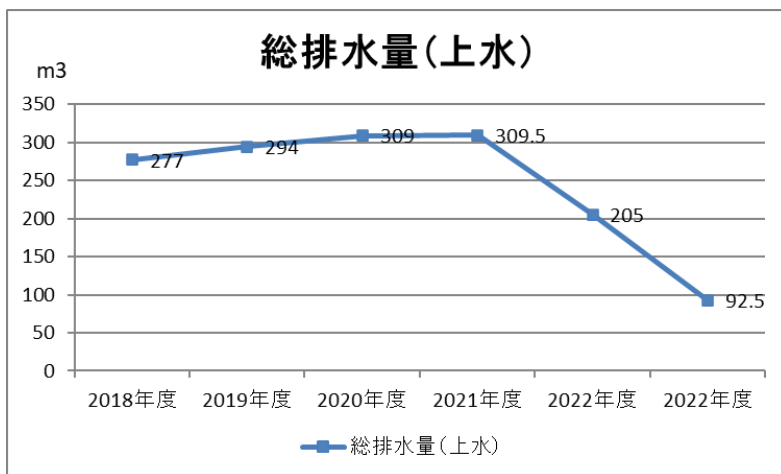


堆肥化工場が閉鎖され、今のところ堆肥化できる施設はないため、今後は今のリサイクル率の水準が基準となると考えられる。

まだまだ事業所ごみに紙ゴミ等リサイクルできるごみも混じっているため、今後も、排出者への分別の啓発活動等も積極的に行い、リサイクルを推進していきたい。



6、水使用量

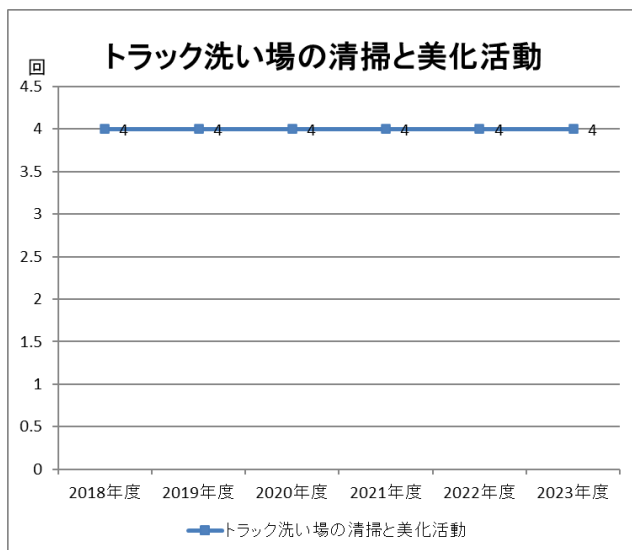


前年度とより削減出来た。自宅兼事務所となっているので、今後も会社ばかりでなく家庭でも取組みを強化していく。

※地下水はメーターがないため、数値の把握はできない。



7、清掃美化活動



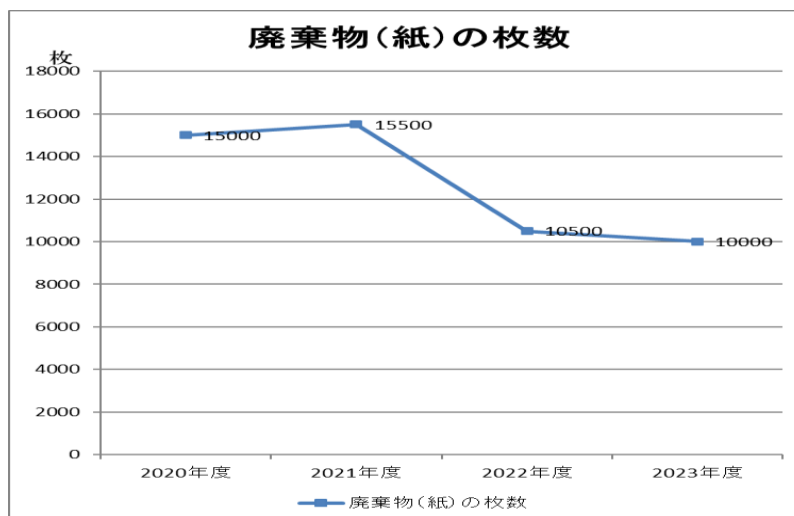
目標回数は達成できた。

それぞれの役割分担も昨年同様、定着してきた。

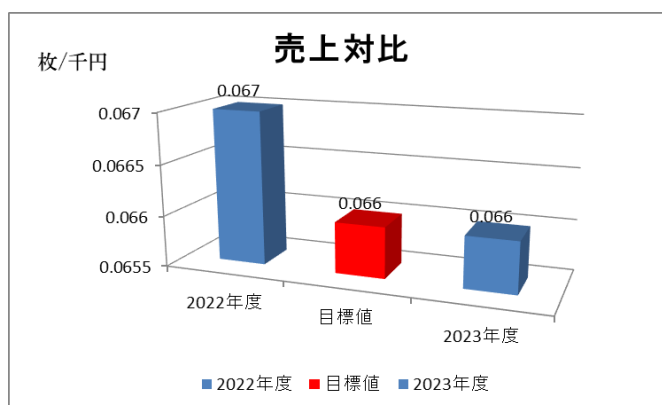
今後も清掃美化活動をみんなで行っていきたい。



8、廃棄物（紙）量



8-1

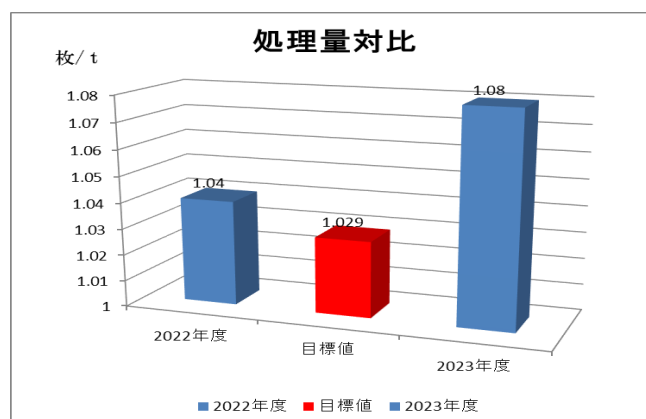


紙の使用枚数は、減少していた。ペーパーレスかも進んできたと思う。

今後もさらに裏紙使用の徹底など、環境活動を続けていきたい。



8-2



目指そう循環型社会！！



7、環境経営計画と取組評価

作成日：2008年1月20日

改訂日：2020年4月10日

活動評価日：2024年2月15日

項目	具体的な活動	結果	取組評価
電力使用量の削減	① 不必要な照明はこまめに消す（毎日） ② 空調の適正管理を行う（毎日） ③ O A機器の不使用时は電源をOFFにする（毎日） ④ エアコンフィルターの掃除をこまめに行う（6月、12月） ⑤ トラックの エアコンフィルターの掃除をこまめに行う（適時） ⑥ 省エネタイプの機器の導入を行う（適時）	◎	■今年度は、目標達成出来た。 自宅兼事務所となっており、家庭での取り組みも身についてきていると思う。 夏になると、エアコンが効かなくなるトラックが多くなってくるので、もっとこまめに掃除を行いたい。
燃料（軽油、ガソリン）使用量の削減	① アイドリングストップの実施（毎日） ② 急発進・急加速をしない為に、スローアクセルを心がける（毎日） ③ 法定速度を守る（毎日） ④ 過積載をしない（毎日） ⑤ 定期的な車両整備の実施を行う（適時） ⑥ 効率的なルートの把握を行う（毎日） ⑦ 燃料使用量の把握を行う（毎月）	◎	■今年度は目標達成出来た。日頃から心がけて、エコドライブが身についていると思う。 ■効率的なルートを個々が意見をしっかりと出し合えた。 <課題> ☆車両の整備に関しては、ドライバー次第で、メンテナンスに差が出てきているので、どのドライバーもしっかりメンテナンスするよう平準化したい。
産業廃棄物のリサイクル率の向上	① 排出事業者への分別依頼と分別指導を行う（適時） ② 再生、再利用可能な処理業者の情報を収集する（適時） ③ 産業廃棄物のリサイクルを促進する（適時）	◎	■弊社に搬入先を委ねられる排出事業所へは、リサイクル施設を薦め、昨年度同様、今年度もリサイクル率100%を達成できた。 <課題> ☆社員一人一人の産業廃棄物への知識は高まりつつあるが、まだ知識のばらつきはあるので、全体としてもっと教育していきたい。
事業系一般廃棄物のリサイクル率の向上	① 排出事業者への分別依頼と分別指導を行う（適時） ② 再生、再利用可能な処理業者の情報を収集する（適時） ③ 一般廃棄物のリサイクルを促進する（毎日）	◎	■一廃のリサイクル率は達成は出来なかったが、出来る限りの分別は出来たと思う。お客様の分別意識も高まりつつあると思う。 <課題> ☆依然、排出者が出す時点で、混じってしまっていて、リサイクルできないこともあるので、引き続き分別指導等いきたい。
排出事業者への啓発（リサイクルの推進）	① リサイクル推進の啓発資料を作成する（適時） ② 排出事業者へ啓発資料を配布し、分別方法やリサイクルの仕組みを教育する（適時） ③ 環境活動レポート等を用いて、当社のリサイクルの推進活動を紹介する（適時） ④ 排出事業者へリサイクル推進を呼びかけ、循環型社会の形成を推進する（適時）	○	■リサイクル推進ばかりでなく、廃棄物の法律順守に関連することなども呼びかけた。 <課題> ☆あまりレポートを活用できていないので、今後活用していきたい。

そのためには・・・



項目	具体的な活動	結果	取組評価
水資源の削減	① 運搬車両の整備、美化を行う（毎週） ② 節水シールを貼り付け、社員への節水意識の向上を行う（毎日） ③ 社員全員で節水活動を推進する（毎日）	○	■車両の整備、美化活動は従業員によって差があるので、みんなの意識をもっと高めたい。 ＜課題＞ ☆会社でも、家庭でも節水活動を行う。
トラック洗い場の清掃と美化活動	① 役割・分担を明確にして、乗務員全員で確実に取り組む。（1週間に1回） ② 清掃や美化活動を行うことで、社員の美化や環境への意識を向上させる（毎週）	○	■目標の回数は、達成できている。会社全体とする時間はあまりなかったのも、もっと増やしていきたい。 ＜課題＞ ☆全体としての時間があまり取れないので、個々で少しずつやっていきたい。
事業所の廃棄物の削減	① 不必要な紙の裏面を再利用する。（毎日） ② 使用済みの封筒を再利用する。（毎日） ③ 電子メディアを利用し、ペーパーレス化を進める（毎日） ④ プリントアウトする前に、プレビュー画面で確認し、ミスプリントを減らす（毎日）	◎	■紙使用量は達成できた。今年度も紙や封筒は、再利用の徹底を行った。 ＜課題＞ ☆ペーパーレス化なども積極的にもっと進めていきたい。

- ・◎よくできた ○できた △ あまりできなかった。
- ・どの項目も達成はできました。
- ・前年度と同じ結果だったので、次年度は、◎を増やしていきたいです。



一人一人が分別を！！

環境活動の取り組みは、下記の実施体制で行っております。

役割・責任・権限

責任者	主な業務内容及び責任と権限
社長	①当社の環境マネジメントの最高責任 ②環境管理責任者の任命及び環境組織の明確化 ③環境方針の制定、環境目標及び環境活動計画の承認 ④「環境活動レポート」の承認 ⑤環境マネジメントシステムの実施及び管理に必要な資源 （人材・特殊技術・技術・資金）投資への許可 ⑥代表者による評価及び見直しの実施 ⑦緊急事態発生時の判断
環境管理責任者	①環境マネジメントシステムの構築、実施、維持 ②「EA21実施マニュアル」の起案、見直し ③環境改善計画の立案と実施 ④環境改善計画の進捗状況の確認評価と修正の指示・管理 ⑤環境マネジメントシステム実績等の代表者への報告 ⑥環境マネジメントシステムのための資源、要員の提言 ⑦環境マネジメントシステムに関する問題の明確化と記録の管理 ⑧環境問題解決及び検証 ⑨環境活動レポートの起案 ⑩環境コミュニケーションの窓口 ⑪教育と訓練の実施 ⑫緊急事態体制の特定、訓練・見直し ⑬緊急事態発生時の対応と対策の実施 ⑭環境影響項目の抽出、データ収集
環境管理担当者	①環境情報の連絡 ②環境管理責任者の補佐
実行責任者	環境方針、環境目標、環境活動の理解 環境目標達成に向けた取組の推進 環境法規制の遵守

8、次年度の環境経営活動計画

次年度も前年度同様、トラック洗い場の清掃と美化活動の

- ①役割・分担を明確にして、乗務員全員で確実に取り組む。
- ②清掃や美化活動を行うことで、社員の美化や環境への意識を向上させる。

上記項目を、強化していきます。この項目を強化することで、自然と清潔に会社内を保てるので、インフルエンザやコロナ対策にもなる考える。



9、環境法規等の遵守状況、訴訟の有無

下記の表に基づき、環境法規制の遵守評価を実施した結果、
法規等の違反はありません。

過去3年間にわたり、関係当局より指摘・指導等はありません。
また、周辺住民からの苦情もなく、訴訟についてもありません。

法令順守日：令和6年1月31日

法規制等	遵守事項（法規制/自主規制）
家電リサイクル法 改正リサイクル法	（法規制） 1.リサイクル料支払い（発生時のみ） 2.廃棄時の適正処置（発生時のみ）
自動車リサイクル法	（法規制） 1.リサイクル料支払い（発生時のみ） 2.廃棄時の適正処置（発生時のみ）
浄化槽法	1. 浄化槽点検・清掃 2. 法定水質検査
熊本県地下水保全条例	（法規制） 1.地下水の年間使用量の熊本市への報告
廃棄物処理法	（法規制） 1.委託契約書（書面）
	（法規制） 1.マニフェストの発行、管理 2.各票の受領確認
	（法規制） 1.産業廃棄物運搬の表示 2.マニフェスト伝票の携帯
	（法規制） 1.一般廃棄物処理量、運搬先状況の報告
建設リサイクル法	（法規制） 1.土木工事に係る分別、再資源化の実施
フロン排出抑制法	（法規制） 1.排出者に委託確認書を発行してもらう。 2.回収業者から引取証明書を受取る。 3.排出事業者へ引取証明書の写しをやる。
廃棄物処理法	（法規制） 1.委託契約書（書面）
	（法規制） 1.マニフェストの発行、管理 2.各票の受領確認
	（法規制） 1.産業廃棄物運搬の表示 2.マニフェスト伝票の携帯
	（法規制） 1.産業廃棄物処理量、運搬先状況の報告
消防法	（法規制） 1、第4類第4石油類は、1/5以上指定数量（6000ℓ） 以下保管は熊本市火災予防条例に従う。 2、1/5以上指定数量（6000ℓ）以上になると消防法により規定。 3、弊社の保管は1/5以下なので、自主管理の範囲。
	1、対象の可能性のある化学物質のSDSを取り寄せ、 確認する。 （法規制） 2、PRTR対象の化学物質がある場合で、業種、社員数、 扱う量等一定の条件を満たす場合、 （弊社は、なし）



10、総評

E A21に取り組んで、18年余りが過ぎた。

ゴミの扱い量は、一般廃棄物も産業廃棄物も安定してきている。

環境の数値目標は、それぞれどの項目も達成できており、これは日頃からの社員一人一人の環境活動の成果の表れと考える。

今年も、残念ながら、前年度より売上は減少してしまったが、まずは、売上を伸ばすと共に、環境活動にも一人一人がしっかり取り組み、環境の数値目標を達成し、経費削減も努めていきたい。

また、昨今、人材不足が社会問題となっており、弊社でも、職場環境の改善や、社員の高齢化による配車への配慮・対応、社員の働く意識・意欲の向上、若手社員の育成等、働きやすい環境作りの整備を行い、人材確保に努めていきたい。



11、代表者による全体の評価と見直し記録

代表者による全体の評価と見直し記録				承認	作成
実施日:2024年 2月 15日					
1. 評価事項					
No.	評価事項	評価結果	改善内容	期限	改善責任者
1	環境関連法規等の遵守状況	遵守されている。今後も関連法規の最新版を確認し、変更追加等ないか毎年確認し、確実に法を遵守する。	現状を維持する。		
2	環境活動の進捗状況	目標数値は達成出来ており、社員一人一人が環境活動出来ている。	現状を維持する。		
3	環境に関する苦情や要望対応状況	苦情や要望は特になかった。	現状を維持する。		
4	その他、代表者が必要と判断した情報	特になかった。今後も目標達成できるよう、従業員一同取り組む。	現状を維持する。		
2. 見直し事項					
No.	環境経営システムの見直し事項	見直し結果	改善内容	期限	改善責任者
1	環境経営方針、環境目標、環境活動の変更の必要性	環境経営目標の数値の件で、前回審査で、燃料を軽油とガソリンそれぞれで別々で表記したが良いとアドバイスいただいたので、今回分から別で表記した。	現状を維持する。	2023/2/15修正済み	環境管理責任者
2	実施体制の見直し	特になし。	現状を維持する。		
3	環境経営システムの変更の必要性	現在、従業員一人一人がしっかり活動出来ていると思う。今後も続けていきたい。	現状を維持する。		
4	その他	特になし。	現状を維持する。		

